

ハム将棋に勝てる！

棒銀戦法

今は亡きハム将棋に捧ぐ

【第1図】



ハム将棋に棒銀で挑む

第19手▲7七銀まで

先手はハム将棋。ここまでの指手は以下の通り。

- ▲7八金 □8四歩 ▲7六歩 □8五歩 ▲2六歩 □3
- 二金 ▲2五歩 □7二銀 ▲2四歩 □2四歩 ▲2四飛
- 2三歩打 ▲2八飛 □8三銀 ▲4八銀 □8四銀 ▲
- 6八銀 □9五銀 ▲7七銀 (第1図)

先手のハム将棋は2筋の歩を切ったが、飛車の移動により1手遅れている。その間に後手は棒銀を繰り出す。先手は先に▲9六歩を突いて、9筋に銀が出るのを避けた方が良かったが、今となっては銀歩の交換は避けられない。

【第2図】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
先手	香	桂		金	王		銀	桂	香	一
							金	角		二
後手	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
										四
										五
		歩	歩							六
	歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩	七
		角	金			銀		飛		八
	香	桂			玉	金		桂	香	九

第25手▲8七歩まで

第1図のあと△8六歩▲同歩△8六銀▲同銀△同飛と銀歩の交換となり、先手は▲8七歩と受けてきた(第2図)。

ここは△7六飛と横歩を取る手もあるが、激しい戦いになる。銀歩交換で良しと見て△8二飛と引いておこう。

先手のハム将棋は次に▲5八金とじっくり駒組みを進める。初級者のなかには▲7七銀と駒を打って補強する人もいるが、持駒はなるべく持っていた方がよい。将棋ソフトで解析すると▲5八金は互角だが、▲7七銀では200点ほど先手不利になる。



第48手△8七角まで



第45手▲7九角まで

第6図以下、▲7七桂△8七銀成▲7九角（第7図）。

先手は7九に角を打って香取りを防いだが、これはハムスターの浅知恵と言わざるを得ない。この1手で評価値は5000点変化し、後手優勢から勝勢となる。

第7図以下、△7八成銀に仕方なくの▲7八同玉だが、△8七角と打たれて万事休す（第8図）。以下は、▲6八玉△6九金までの簡単な詰み。

端を絡めた棒銀の威力がお分かりいただけただろうか。ハム将棋は消えてしまったが、また第2第3のソフトが現れるだろう。読者も油断することなく棒銀力を鍛えて欲しい。

この書籍は「かんたん棋書エディタ Version: 1.2.0」にて作成しました。作者の@shogishinriさんに感謝します。

著者： ず

URL: <https://shogi.zukeran.org/>

